

令和8年度 第1回南房総・館山地域公共交通活性化協議会 会議報告

会議の名称	令和8年度 第1回 南房総・館山地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和8年5月21日(木) 14時00分～15時40分
開催場所	南房総市三芳農村環境改善センター 2階大会議室
出席者等	<p><出席委員>21名</p> <p>協議会会長 石井 博臣 委員(館山市副市長)</p> <p>協議会副会長 南房総市副市長</p> <p>代理出席 総務部長 黒川 秀和 様</p> <p>協議会副会長 若林 大祐 委員(千葉県総合企画部 交通計画課 地域公共交通担当課長)</p> <p>代理出席 副主査 小澤 竜也 様</p> <p>佐藤 勝英 委員(東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長)</p> <p>成田 斉 委員(一般社団法人千葉県バス協会 専務理事)</p> <p>高橋 晴樹 委員(日東交通株式会社 運輸部長)</p> <p>代理出席 輸送課長 石井 敬太 様</p> <p>中川 行雄 委員(ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長)</p> <p>代田 憲隆 委員(鏡浦自動車株式会社 代表取締役)</p> <p>本間 裕二 委員(南房タクシー株式会社 代表取締役)</p> <p>代理出席 統括部長 大賀 智洋 様</p> <p>小澤 利男 委員(日東交通労働組合 安房支部代表)</p> <p>嶋田 敏行 委員(安房土木事務所 調整課長)</p> <p>青木 文男 委員(南房総市住民・利用者代表・三芳地区)</p> <p>本橋 清一 委員(南房総市住民・利用者代表・白浜地区)</p> <p>篠塚 和則 委員(館山市住民・利用者代表(連合副会長)九重地区区長会長)</p> <p>石川 佳市 委員(館山市住民・利用者代表(連合副会長)上高湊地区連合町内会長)</p> <p>市野 将英 委員(国土交通省関東運輸局 交通政策部交通企画課長)</p> <p>菅井 規 委員(関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官)</p> <p>武井 大 委員(館山警察署 交通課長)</p> <p>鈴木 賢二 委員(安房道の駅連絡会 会長)</p> <p>手島 隆 委員(館山市社会福祉協議会 事務局長)</p> <p>為国 孝敏 委員(NPO法人まちづくり支援センター 代表理事)</p> <p><事務局></p> <p>館山市建設経済部 千原部長</p> <p>館山市建設経済部都市計画課 棚橋課長、宇都木副課長、川崎副主幹、矢代副主査</p> <p>南房総市総務部企画政策課 井野課長、忍足係長</p>
傍聴人	2人

<p>会議の議題 等</p>	<p><議題></p> <p>(1) 令和 7 年度協議会事業報告及び決算報告について 【協議第 1 号】</p> <p>(2) 令和 8 年度協議会事業計画(案)及び予算(案)について 【協議第 2 号】</p> <p>(3) チョイソコ南房総・館山について(一部変更) 【協議第 3 号】</p> <p>(4) 南房総・館山地域公共ライドシェア実績報告及び今後について 【協議第 4 号】</p> <p>(5) 令和 8 年度地域公共交通確保維持事業に係る計画別紙の変更について 【協議第 5 号】</p> <p>(6) 令和 9 年度地域公共交通確保維持事業に係る計画別紙について 【協議第 6 号】</p> <p><その他配布資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 席次表 ・ チョイソコ南房総・館山令和 7 年度実績 ・ 館山市街地循環バス令和 7 年度実績 ・ モビリティ人材育成事業について ・ 第 2 期南房総・館山地域公共交通計画(冊子・概要版)
<p>議事概要及 び発言の要 旨</p>	<p>別紙 会議要旨のとおり</p>

別紙 会議要旨

<p>石井会長 あいさつ</p>	<p>日ごろより、当地域の公共交通行政にご理解ご協力をいただき、御礼申し上げます。</p> <p>昨年度は、第2期南房総・館山地域公共交通計画策定につきまして、皆さまの多大なるご協力を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで、無事計画を策定することが出来た。計画は作って終わりではなく、これからの5年間の指針となる。引き続き地域公共交通の発展に向けて、御助力いただけると幸い。</p> <p>今年度は、策定した計画に基づき、各種路線の維持や、引き続きチョイソコや房総ライドなどを活用した交通空白解消、さらに公共交通利用の促進に向けたプロモーション施策など多数の事業展開を予定している。本日の議題にて、内容について御審議いただくため、積極的なご意見をいただきたい。</p> <p>昨年来から続く、社会情勢の変化による様々な影響が、公共交通を取り巻く環境にも大きく変化をもたらせていると思われる。今後も皆様の連携や地域の交通モードを有効に活用することで、当地域の公共交通の維持・確保に努めていく。</p>
<p>成田委員</p>	<p>【協議第1号：令和7年度協議会事業報告及び決算報告について】 ○協議第1号資料の内容について事務局から説明。手島委員より監査報告、質疑は無く、承認された。</p> <p>【協議第2号：令和8年度協議会事業計画(案)及び予算(案)について】 ○協議第2号資料の内容について事務局から説明。質疑を経て、承認された。</p> <p>事業計画の年度は行政の一般会計予算年度なのか、それともバス年度か。地域間幹線系統で、館山鴨川線は鴨川市も含まれていると思うが、見直し・検討に関しては、鴨川市も一緒に行うのか。目標4運転手不足への対応について、バス事業者の募集に対して協力を予定しているのか、それとも、千葉県で年2回行っている全体的な案内への協力のどちらか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後も引き続き路線維持確保に努め、利用実態等を考慮していく予定だが、特に年度を区切るように考えてはいない。館山鴨川線の見直し検討に関しては、鴨川市とも一緒に検討していきたいと考えている。運転手募集に関しては、県が実施している運転手募集の周知協力等を想定している。新たに良い方法があれば改めて検討、実施したいと考えている。</p> <p>【協議第3号：チョイソコ南房総・館山について(一部変更)】 ○協議第3号資料の内容について事務局から説明。質疑を経て、承認された。</p>

菅井委員	運賃割引設定に関しては、市が持ち出しということか。単純に運賃を割引の場合、6月1日から開始となっているが、30日前に運賃の届出が必要となる。2市で負担いただくのであれば、届出は不要。
事務局	事業者負担が減るわけではなく、2市の負担金で対応する。 【協議第4号：南房総・館山地域公共ライドシェア実績報告及び今後について】 ○協議第4号資料の内容について事務局から説明。質疑を経て、承認された。
為国委員	登録ドライバー数がでていますが、市民の方か。記載されている全員が動けるドライバーということでしょうか。
事務局	現状動いているドライバーは、JR東日本の協力を含め4名程度が実際に動いているドライバー。登録ドライバーに関しては、現在運行を行っていない方も含まれている。
為国委員	自家用有償運送かと思うが、運行管理はどうなっているか。
事務局	運行管理、点呼に関しては鏡浦自動車へ委託している。
為国委員	ライドシェア実施の際、タクシー事業者の運行時間とバッティングする事がある。運賃もライドシェアが安くなっていると思うが。
事務局	タクシー事業者とのバッティングに関しては、タクシー事業者2社と事前協議の上運行している。運賃に関しては、夜間割増運賃等はないが、タクシーと同程度での運賃設定としている。
為国委員	上手くいっていない地域が多いため、地元との協議をしながら上手く進めてもらいたい。タクシーが運行していない時間での運行という事でよろしいか。
代田委員	南房タクシーは23時まで運行しているが、車両台数が少ない。
為国委員	行政職員のドライバー対応は行っていないのか。
事務局	行っていない。
為国委員	他地域で、地元ドライバーがおらず、副業として行政職員がやっている地域もある。

佐藤委員	前回、前任からも提案させていただいたが、和田丸山地区での昼間のライドシェアの検討状況をお知らせいただきたい。
事務局	昼間運行については、現状夜間時間帯の交通空白を国のリストアップ調査でも報告している。現状交通空白時間帯の解消が出来ていないなか、夜間実証運行を止めて昼間運行に移行するのは難しいと考えており、ニーズのある曜日での実証運行を実施したいと考えている。
黒川代理委員	南房総市では、昼間の和田丸山エリアでのライドシェアについて、検討をしたいと考えている。「チョイソコわだまるやま」の実証運行を4月から開始している。チョイソコは、地区内の移動を主に考えており、地区外への移動は路線バスまたは鉄道となっている。タクシーを手配しても30分以上かかる地区となっており、公共ライドシェアでタクシー機能を補完し、鴨川市の亀田病院や館山駅への移動手段として検討していきたい。今後、関係者との協議を進め、次回会議で提案させていただきたい。
石井会長	昼間のライドシェアに関して、ご意見があったが、事業に影響がある、タクシー事業者の意見をお聞かせいただきたい。
代田委員	前回会議でもお伝えしたが、和田丸山地区にあったタクシー事業者が廃業となり、タクシーが不在となっている。突発で使いたいとなった場合に、白浜タクシーか、鴨川タクシーか弊社かとなるが、いずれにしても30分近く配車にかかってしまう。和田丸山からの一方通行であればやむなしかと思うが、逆もありとなると、南房タクシーとともに需要は満たしている状況のため、非常に影響があると思われる。路線バスや鉄道もあるため、場所を絞った運行で検討していただければ。
大賀代理委員	きょうほタクシーと同意見。車両が13台あり、一日8～11台程度が運行している。和田地区内の移動には、中々お応え出来ない状況。深夜に関しては、23:30頃まで運行しているが、1～2台しか動いておらず、遠くへの配車が入ると、他に配車が不可能となる。またドライバーに関しても日々の配車で収入が決まるため、いきなり全てライドシェアに移行されてしまうのには賛同しかねる。
為国委員	他の地域で日中ライドシェアをやっているが、首都圏は夜間に注目されるが、過疎地では、バスの本数が限られ、空白時間が発生している。外出出来る環境をつくる事で、他の交通機関を利用し、相乗効果が生まれている。

成田委員	協議1号で、ライドシェアに関し、利用者ニーズを鑑み、色々変更をされてきたと記載されていた。今回今後の実証運行についてという議題を上げられたが、他の主体(国、県)から予算的裏付けがあって提案されているのか。また、今後に関し、必要経費を鑑み再検討、タクシー借上げを代替案としており、ここまで今回固めてしまっても良いのか。タクシー借上げに関しては、緑ナンバーで乗合という形が、公共ライドシェアという形式になるのか。4条乗合であれば事前にバス事業者にも共有いただいている。
事務局	本事業に関して、国県の予算の裏付けはない。今後の実証運行についてという提案内容に関しては、前回会議にて代替案を提案するとしていたため、今回提案させていただいた。今後の部分に関しては、そのタイミングで検討を行うため記載した内容が全て確定ではない。タクシー借上げに関しては、公共ライドシェアとしての形式ではなく、タクシー事業者に夜間の運行を委託する形を想定している。
成田委員	今後も安全面を考慮し、輸送の安全を認識し、進めていただきたい。
大賀代理委員	実績の乗車地、降車地に関し、参考までデータを教えていただきたい。
事務局	お客様年齢、性別に関してはデータを取得していない。降車地に関しては近距離利用が多く、館山駅周辺から安布里、北条、沼、那古といったあたりがメイン利用となっている。
石井会長	佐藤委員より意見のあった、昼間のライドシェアに関しては、次回会議の際に企画案を事務局より提案させていただく。
	<p>【協議第5号：令和8年度地域公共交通確保維持事業に係る計画別紙の変更について】</p> <p>○協議第5号資料の内容について事務局から説明。質疑は無く、承認された。</p> <p>【協議第6号：令和9年度地域公共交通確保維持事業に係る計画別紙について】</p> <p>○協議第6号資料の内容について事務局から説明。質疑を経て、承認された。</p>
成田委員	地域間幹線系統は、一定の条件になると、補助金を受けられなくなるといった基準がある。フィーダー系統に関して、そういった基準があると聞いてはいないが、今後のフィーダー系統の取扱いに関し、計画期間内は補助をもらえるといった情報等があれば教えていただきたい。

事務局	これから5年間補助を確定でもらえるといった情報はないが、国への申請は続けていく。また、幹線系統に関しても、行政の補助も毎年予算要求は行っていく。
成田委員	<p>フィーダーに関して新たな基準の設定等あれば、協議会で共有いただきたい。</p> <p>【その他：事務局より】</p> <p>チョイソコ南房総・館山及び、館山市街地循環バスの実績報告データを共有。また、今年度リデザイン補助のモビリティ人材育成事業において、様々なDX化を推進する講義を受ける予定。行政職員および、交通事業者を対象としているため、是非ご参加いただきたい。詳細日程が固まったら改めて共有させていただく。</p> <p>【その他】</p>
成田委員	委員が変わった際には、委員名簿を添付していただきたい。また、副会長が異動で変わられたようだが、任命も終わっているのか。
事務局	<p>委員在任期間のため、後任の方をお願いします。</p> <p>【その他：次回会議日程について】</p> <p>・8月頃の開催を予定している。</p>